

アプリケーションアーキテクトの目的ワークシート

機能要件の収集と定義

- 大量データの懸念事項が存在する可能性があるオブジェクトを特定する
- すべてのユーザグループを特定し、内部ユーザと外部ユーザの種別を区別する
- データ表示、アクセス要件、エクスポート制限など、ビジネスプロセスに必要なすべてのセキュリティ要件を特定する
- 利用状況や使いやすさなど、ユーザエクスペリエンスに適用されるすべての要件を特定する

機能設計

- 該当するオブジェクトと機能を考慮して、内部ユーザと外部ユーザに最適なライセンスの種類を推奨する
- ビジネス要件の解決手段として、アプリケーションをカスタマイズする前に、まずガバナ制限の範囲内で宣言的機能を使用する
- Visualforce または Apex で、適切なアクセス制御を含めて、ガバナ制限の範囲内で、ベストプラクティスの設計パターンと再利用性を使用することを推奨する
- さまざまな関係者に適したレポート作成の仕組みを推奨する
- シナリオの要件を満たす適切な AppExchange 製品を推奨する
- ユーザインターフェースに関して、宣言型ページレイアウトやフィードなどを使用する利点または欠点を検討する
- Lightning と Visualforce を使用する利点または欠点、モバイルインターフェースに与える影響について検討する
- プラットフォーム上の適切な仕組みを推奨し、推奨ソリューションの根拠を示す
- 主キー、外部 ID、データローダの機能を適切に使用して、別のシステムの階層データを Salesforce にデータを損失することなく移行する
- 外部ユーザが、外部ユーザ同士あるいは内部ユーザと共同作業できるようにする適切なツールを推奨する

データモデルの作成

- 企業の「現状の」データモデルに、追跡する必要がある適切なオブジェクトや項目を追加する
- オブジェクト間のすべての関係にリレーション種別とカーディナリティを正しく割り当て、正当性を示す

- Salesforce に保存されていない未加工データや集計データにアクセスするための適切な仕組みを推奨する
- 適切なオブジェクト、正しいリレーション種別、リレーションのカーディナリティ、組織の共有設定を含むデータモデルを図で示す
- 大量データの懸念事項が存在するオブジェクトに対処する緩和手法を推奨する

セキュリティモデルの作成

- プロファイルと権限セットの適切な組み合わせ/使用を推奨する
- さまざまなオブジェクトに最適な組織の共有設定を推奨する
- データへの適切なアクセス（または制限）を提供する、Salesforce 内の最適なロール階層を推奨する
- データへのアクセス権をスケーラブルな方法で付与するために、暗黙的な共有を超える追加の共有方法を推奨する
- 標準のロール、プロファイル、またはレイアウトを使用して、データアクセスを実行できない状況に適した共有方法を推奨する
- 特定のレコードのすべての項目ではなく、レコードへのアクセス権をユーザに付与する適切な方法を推奨する
- 外部ユーザが参照を許可されるデータを制限する適切な共有方法を推奨する
- 適切なオブジェクト、ページ、項目などへのアクセス権を外部ユーザに付与する適切な共有方法を推奨する
- 非公開または機密データを安全に保護する適切な方法を推奨する

クラウド機能

- ユーザが密度のある UI を移動したり、一度に複数のレコードを開いたりできるツールを推奨する
- 取引先の特性に基づいて、取引先へのアクセス権をユーザに付与する適切な共有システムを推奨する
- 該当する場合、個人取引先の利点と欠点を特定する
- 内部ユーザにプロセスや FAQ の記事形式でサポートナレッジベースを提供するツールを推奨する
- 外部ユーザがサポートエージェントとチャットできる適切なツールを推奨する
- あらゆる種類の受信作業項目を最も適任で作業可能なエージェントに転送できる適切なコールセンターツールを推奨する